

1月22日 六甲山

藤村 敏幸

| | | | |
|-----|--|-----|-------|
| 山名 | 六甲山 | 山行名 | 六甲山登山 |
| ルート | JR 芦屋→風吹岩→雨ヶ峰→一軒茶屋→六甲山頂上駅→有馬温泉→京都駅 | | |
| 山行日 | 2023年1月22日(日) | 天候 | 曇 |
| 参加者 | リーダー：藤村 サブリーダー：幾田 高橋、蒲田、米田、井上、川田、大西、永江 9名 | | |

| | | | | | |
|------------|--------|-------|---------|-----|-------|
| ルート概略図 | コースタイム | | | | |
| | 地名 | 時：分 | 地名 | 時：分 | |
| 芦屋川駅 | 集 | | 一軒茶屋 | 着 | 13:53 |
| | 発 | 8:38 | | 発 | 13:55 |
| 芦屋川駅 | 着 | 8:51 | 六甲越 | 着 | 13:55 |
| | 発 | 8:52 | | 発 | 13:58 |
| 高座ノ滝 | 着 | 9:38 | 西お多福登山道 | 着 | 14:31 |
| | 発 | 9:48 | | 発 | 14:35 |
| 風吹岩 | 着 | 10:47 | 六甲山頂上駅 | 着 | 15:15 |
| | 発 | 10:55 | | 発 | 15:30 |
| 雨ヶ峰 | 着 | 11:56 | 有馬温泉 | 着 | 15:35 |
| | 発 | 12:28 | | 発 | |

数日前から暖かく、頂上付近の雪の状況についてロープウェイ頂上駅に問い合わせると、殆ど雪がなく安全であるとの話で、当日は安心して山行を始める。阪急芦屋川駅からの道には、多くの登山客が小春日和の夙川の側道を軽やかに登っていた。高座の滝まではいきなりの急登ですぐに体が温まり、休憩の都度着こんできた服を脱ぎ調整をする。高齢者の我々は次々に追い抜かれてようやく大谷茶屋に到着する。

風吹岩までは名物の芦屋ロックガーデンで、三点確保しながら気持ちを引き締めて登ると、苦しんでいる我々の姿を見て、「もう少しですよ」と上の方で下山のために道を譲る人からの励ましの声を聞く。魚屋道になると緩やかな登りでゴルフ場を横切り、雨ヶ峰まで辿りつき昼食とする。その時点で予定よりかなり遅れておりこのままのペースでは有馬温泉での入浴時間を確保できなくなる。昼食後に帰りのバスの乗車時間を1時間遅らすよう京阪バスセンターに電話する。日曜日にも拘わらず、乗客が少ないのか簡単に変更予約ができた。私と予約センターの会話を聞いていた人から嬉しそうな慶びの声があがった。

七曲り登山口まで一旦下り、そこから最後の七曲り道を進む。温かくなり 11 月後半の山登りであるかと勘違いするほどで、風もなく穏やかな日であった。

一軒茶屋には神戸らしい斬新なデザインの休憩所があった。ここから六甲山駅までほぼ平坦な道と想像していたが、意外と急登と急降下の小山が何カ所も続く。ただこの稜線からは遠く和泉山脈まで望むことができ、もう少し晴れていれば大感動すること間違いなしと思えた。ロープウェイ駅から僅か 12 分で有馬温泉に到着する。金の湯の赤褐色の湯に浸かり疲れた体を癒して温まる。直通バスはガラガラで 2 席を 1 人で占有して、居眠りをしていると気がつけば京都駅であった。SL の指導よろしく、怪我もなく無事下山でき、参加者の皆さんご苦労さまでした。

ヒヤリハット なし

1月22日（日）、六甲山に9名で行ってきました。

JR芦屋駅から歩いて、登山口へ向かい、まずロックガーデンに挑みました。名前の通りまさに岩だらけの道。チェーンも所々にあり、それなりの難度がありました。その後名所である風吹岩に到着しました。大阪湾が見え、絶景でした。この景色を見るだけでも、来たかいがありました。雨ヶ峠で昼食をいただき、後半戦に入りました。ロープウェイまであと少しというところで、少し道を間違えてしまいました。

少々気持ちに焦りがあったのかもしれません。あと少しというところはやっぱり怖いですね。

ロープウェイに乗り換えて有馬温泉へ向かったのですが、料金はモンベルカードで割引してもらえました。山行にはモンベルカードは必須かもしれません。（カード持参してくれた皆さん。ありがとうございます。）

ロープウェイから見る景色もなかなかでした。有馬温泉では温泉も楽しむことができ、帰りは京都駅までのノンストップバスに乗り快適でした。

アップダウンが結構あり疲れましたが、天気にも恵まれた登山となり楽しかったです。また行きたいですね。ありがとうございました。

